

かわにし

広報かわにし

No.557

平成17年1月10日



第20回記念
川西オープン元旦卓球大会

新年は 卓球から!

特集 震度6を超えて(3) …2
お知らせします 町職員の給与…8
工事が進む 千手中央コミセン…14

人口の動き

—1月1日現在—

男	3,965 (－2)
女	4,020 (－4)
計	7,985 (－6)
世帯数	2,274 (－1)

() は前月比較

特集

震度6を越えて(3)



震災発生から約80日が経過し、復興への道筋も見えてきました。
新年を迎えたことで一区切りつけたいところです。

町長、議長の新年のごあいさつも含め、みなさんからの投稿と、
少しずつ震災にからんで見えてきたことなどを、検証してみたいと
思います。

とはいえ、冬はこれからが本番です。みんなで震災後初めて経
験する寒さと雪に立ち向かいましょう。



川西町長
田口直人

新年にあたり一言ごあいさつを申し上げます。
昨年の震災は過去に例を見ない大災害となり、
残念ながら尊い人命が失われ、今なお自宅に戻る
ことが出来ない方々や、応急復旧で寒さをしのぐご
家庭などもあります。これからの時期、屋根雪の処
理等にくれぐれもご注意され冬を乗り越えていた
きたいとご祈念申し上げます。

今年はいよいよ五市町村合併を迎えますが、こ
で重要な政策課題について考えてみたいと思います。
まずは何と云っても、昨夏の豪雨災害とこの度の
震災からの復旧・復興対策です。道路・水路や上下
水道の本格的復旧と、崩壊した野山の安全対策には
早急に取り組まなければなりません。

川西町の基幹産業である農業基盤が大きな被害に
遭っているため、離農や耕作放棄にならないよう支
援策を強化しているところです。

地域コミュニティの確立も重要要素です。特に
今回の震災においては、自治組織の有為性が強く感
じられたことでした。

ともあれ、難題山積の中での新市スタートとな
ります。地域住民の願いを実現するために、お互いが
強い気構えをもって踏み出すことが最も大切だと考
えます。

皆様方のご健康をお祈り申し上げ、ごあいさつと
させていただきます。



物資配給には多くの人手と時間を必要としました

大震災を検証する①

救援物資をめぐつて

(川西町災害対策本部)

今回から、大震災発生に伴う様々な対応や、浮かび上がってきた課題などについて、状況を追いながら検証していきます。

とにかく早く届ける

川西町災害対策本部では、地震直後、様々な初期対応を進めている中で、道路はもとより、水道、電気といったライフラインが使用不能だということが分かりました。そこで、当面の食糧確保が急務と考え、十月二十三日の深夜、食品の卸売り業者に手配して、ペットボトルの水と、カップめんや缶詰など食糧三、七〇〇食を確保しました。これは、当時その業者に在庫のあった全部です。

翌二十四日の朝八時から、各集落の嘱託員さんを通じて各世帯に配布していただきました。千手、上野、橘地区の嘱託員さんからは役場に、仙田地区のみなさんからは仙田体験交流館にそれぞれおいでいただき、各集落の割り当て分をお受け取りいただきました。

ゆずりあいが力に

これは、被災市町村のうちでも、最も早い対応だったと考えています。しかし、八、〇〇〇人の人口に対して三、七〇〇食では数が足りないのは当然で、分配に当たっては、地区の役員の方々が相当ご苦労されました。それでも、地域内でゆずり合い、大きな混乱もなく配分していただきました。嘱託員さんをはじめ集落の役員の皆様には、ご自身の被害も顧みない献身的なご対応をいただきました。この場をお借りして厚く御礼を申し上げます。

その後は、県の対策本部や企業などから救援物資が届くようになり、水や食糧のほか、毛布やカセットコンロ、ブルーシートなど生活資材も配給できるようになりました。以後、同様の方法で物資を配布いたしました。が、数量不足や防災無線を通じての連絡が聞き取りづらかったりして、住民の皆様にはご不便をおかけすることもありまし



川西町議会議長

吉 楽 正 実

新春を迎え謹んで新年のごあいさつを申し上げます。

昨年は未曾有の大震災に見舞われ、甚大なる被害を受けましたが、復興と新たな希望に向かって本格的な船出をする中で、新しい年を迎えることができました。

社会情勢はますます混乱を極めておりますが、今、私どもの目の前には新十日町市誕生という大きな舞台が展開されようとしております。

この舞台を、輝き満ちあふれ魅力あるものにするために、町民一人ひとりの協働のもとで築きあげて行くことが肝要であります。

町議会では、今後さらに多くの皆様方と対話を重ね意見を聞き、まずは災害からの復興を最優先に、誰もが安心して暮らすことができ、生きがいの持てる豊かな町づくりを全力で進めてまいります。どうか本年もより一層のご支援とご協力をお願い申し上げます。



11月からは自衛隊が食糧輸送の大きな力になりました

た。各種復旧作業や、連絡・調整など様々な場面で混乱に伴う対応の不手際などもあり、多くの皆様に多大なご迷惑をおかけしましたことにつきまして、この場をお借りしてお詫び申し上げます。

経験を生かして

数量が足りないことを、事前に住民の皆様にお知らせすべきだったとのご指摘もあります。確かに今となって考えれば、そうすればよかったと振り返ることもできますが、混乱の極みにあった当時としては、たとえ数が足りなくても、いち早く水と食糧を配給しなければならぬという一心で行ったものです。また、道路が各所で寸断されており、電気も電話も通じない中で職員が各種対応に追われる初期段階にあつては、実質的に事前周知が不可能であつたことも、ご理解いただきたと思います。

救援物資殺到と企業倫理

最初の地震から二三日が経

過すると、企業や個人などから大量の予期しない物資が昼夜を問わず届くようになりました。こちらから依頼したもののでも、依頼数量の二倍〜数倍も届き、対策本部では、これらの仕分けと備蓄に多くのエネルギーを費やし、一時はパニック状態に陥りそうになりました。

そこで、企業等からの直接の救援物資提供申し出は基本にお断りし、新潟県災害対策本部を経由するものだけに絞って受け入れをすることとしました。窓口を一本化することで、ようやく混乱状態から脱することができました。

ところが、当初は無償だった食糧なども間もなく有償(有料)となり、さらに、一部ながらも、無償と思われていた救援物資がその後請求書が送りつけられてきたりと、企業倫理を問われるような問題も生じてきました。

そして、その経費が莫大なものになることがわかりました。そこで、ライフラインの復旧した地域から、食糧等の必要性の確認を取り、配給の必要がないと申し出のあつた集落から配給を終了し、上下水道の復旧していない地域を対象に配給することに切り替えました。

その結果、一時あふれかえっていた物資も整理がつき、その

あのときを振り返る

私の体験(2)

先月号に続き、住民のみなさんから寄せられた体験投稿をご紹介します。

みなさん、恐怖と不安にさいなまれながらも、お互いに助け合うことの大切さを身をもって体験し、力強く立ち直っていくという過程を歩んでいるようです。

人は再生に向かう

自分の身の上でこのような惨事が起こるとは、一体誰が想像したであろうか。

その瞬間私は二階にいた。電気が消え真っ暗な中を、とにかく三階の子供のもとへと急いだ。足下が悪い中、大事に至らなければ良いかと祈りながら、階段をよじ登った。

家族の安否確認。次に懐中電灯と情報。何が起こっているか分からないのは、かくも無力なものなのか。そこからは、ひとまず今日の空腹と寒さをどうしのぐか。ようやく、心配しているであろう人々への連絡。

一夜明けたら、家の中の散乱振りに落胆しつつ、しかし課題が見えたような気がした。以降、電気、水、就寝できるスペースの確保が出来て、初めてその先のことを考えられた。

人生において、こんな思いはもうたくさんではあるが、本当に必要なものを再確認できた事を唯一の収穫にするしかない。

そして、人は再生に向かう強さがあることを、希望の光とするしかない。

清水美穂子(36・下平新田)

新潟県 中越大地震



あったかいものは特に喜ばれました
(橘小学校避難所)

支給された救援物資は平等に
分配されました (大白倉)

後は避難指示や勧告が出されている世帯で避難所に避難されている人たちを対象に食糧などを配給し、十二月一日橘小学校避難所の閉鎖とともに配給を終了しました。

十二月末日現在、二〇〇件以上数百種類の物資が自治体や企業、団体、個人の皆様から届けられました。あたたかいご支援をありがとうございました。

地域の習慣を生かす

いずれにしても、町政事務嘱託員をはじめ各集落の役員の皆様、町内(集落)をいち早く掌握し、まとめてくださったことが、パニックや大きな混乱もなく物資の配給ほか様々な対応をスムーズに行うことができた一番の要因です。

こうしたすぐれた地域の制度や習慣は、これからのまちづくりに欠かせないものであり、今後もその長所を生かした地域活動を展開して欲しいと思います。

分け合って食べるありがたさ

あの日あの時、私は姉の孫をあやし遊んでいて、大きな揺れと同時に明かりが消え、これまで体験したことのない恐怖感を覚えた。

揺れが収まると同時に私は家族が心配で走って帰り、夫や子どもの無事を確認しあい安心して家の前へ出た。

近所の方々と、「大丈夫だった? おつかねっけね」とことばを交わし一息ついていけると、再びゴーゴーと、地鳴りなのか鈍い音の後に大きな揺れを感じ、家の中は危険と思い、避難所の上野小学校のグラウンドに行く。次から次へと集まってくる皆さんと安全を確認しあい、恐怖感も人と一緒に居ることでも多少和らいできた。暗闇の中でヘリコプターの光が見え、その後も何度も揺れが襲う。ラジオの地震の放送を聴きながら、車中の生活が始まり、車の中での恐怖感を感じ、とても長い夜だったように思える。

翌日からは水道と電気のない生活、ポットのの水を温め、チキンラーメンに卵を入れて親子で分け合った。水道が一週間出ないことの不便さの中に、人と人との関係の大切さ、やさしいことばかけや、分け合って食べることのありがたさを感じ、何不自由のない子どもたちにとって、とても大切な経験ができたと思う。

二か月が過ぎた今、これからは雪の冬をどう乗り越えていくかが一番気になると思う。

避難生活をしているとき、いろいろ支援物資を配っていただきとても助かった。関係者の方々に感謝し、自分もこれからは何ができるかを考えて、協力していきたいと思う。

清水明美(48・上野)

四元奈生美プロを招いて 第20回記念元旦卓球大会



会場では熱戦が繰り広げられました



みんなが四元選手からサイン、そして握手を
してもらいました

競技のかたわら、テレビやラジオの出演も多く、卓球界のバイオニア的存在として人気も急上昇中です。

この日は、サイン会やトークショー、子どもたちとの練習ゲームなどで地域の人たちとの交流を深めていました。

四元さんは、「こういう元旦卓球があることを初めて知りました。卓球が好きな人たちが集まって楽しくゲームすることは卓球というスポーツの底上げにもなるし、何より二〇回という歴史がすごいと思いました。同じ卓球人としてとてもうれしいことです。地震でイベントそのものがなくなるんじゃないかと思っていました、開催するの聞いてまたびっくりしました。

「地震に負けないで、
卓球を元気にしよう」
四元選手



地震なんかには負けないという意気込みを感じました」と、すっかりこの催しに感心した様子でした。

四元選手とゲームで対戦した川西中学校一年の星名洋紀さん（沖立）は、「（四元選手は）やっぱり強かったです。対戦できて良かった」とうれしそうに感想を語ってくれました。

渡辺会長は、「今回の二〇回大会をきっかけに、もっと幅広い地域からの参加を呼びかけながら、これからも続けていきたい」と、早くも次の目標に向け、目を輝かせていました。

なお、川西町出身の上位成績の選手は次のとおりです。（敬称略）

【一般男子】

二位 高橋 剛（オール県庁）
三位 比護洋平（川西中教諭）

【一般女子】

優勝 本間祐子（新発田クラブ）
二位 須藤明美（新潟大学）

〈竹〉

二位 村越美香（川西クラブ）
三位 村越藍子（川西クラブ）

【カデット男子】

三位 高橋新次郎（川西中学校）
【ラージボール男子】

優勝 渡辺一治郎（川西クラブ）

一月一日、「地震に負けずがんばろう！第二〇回川西オープン元旦卓球大会」が、川西町総合体育館が中越大震災の影響で使えないため、十日町市総合体育館を会場に開催されました。

これは、川西町卓球協会（渡辺一治郎会長）の主催で毎年開かれているもので、元旦の恒例行事としてすっかり定着しています。今年は震災の後でとても開催できないのでは、という声もありましたが、「こういふときだから元気を出してやろう」（渡辺会長）と、町内外に声かけをしたところ、関東や県内各地から約二〇〇人が参加しました。

開催までにはいろいろと課題もありましたが、「十日町市から格別のお取りはからいをいただいて会場提供していただきまして、関東のクラブチームなどからもたくさんの義援金をいただきました」と、渡辺会長は多くの人たちの支えでここまでこぎ着けることができたことを強調します。

また、今回は第二〇回の記念大会ということで、東京都出身でプロの卓球選手として活躍中

の四元奈生美選手を招いての催しも組み込まれ、大会に花を添えました。

四元選手は、中学一年のときに全日本カデット優勝を皮切りにインターハイ、ＵＳオープン、世界大学選手権、アジア大会、ジャパンオープン、全日本選手権など、ほとんどの大会で大活躍したあと、二〇〇一年四月にプロに転向しました。二〇〇四年からは、世界の最高峰である中国卓球リーグ・超級北京チームに所属して各地を転戦しています。



震災復興応援イベント 商工会が開催

12月26日、千手、上野、橘、仙田の町内四地区で川西町商工会（押木篤美会長）主催の「がんばれ川西！震災復興応援イベント」が開催されました。

各地区の広場などで実施された催しは、鮭の抽選会や豚汁・飲み物の無料サービス、もちつきなどで、あいにく天候は雪でしたが、家族連れや子どもたちで賑わいました。

このほか、チンドン屋が各会場をまわったり、モトクロスバイク部隊によるイベントで会場を盛り上げました。

師走の休日は、威勢のいい音や音楽、あったかそうな湯気といいにおいが立ちこめ、終日歓声がこだましていました。

あったかいものには子どもたちが
まっ先に集ります（上野）

根津英作さんは、一昨年の五月に奥さんを亡くされてから、上野のご自宅で一人暮らしの生活を続けていましたが、昨年十一月にあかね園に入所されました。

十月二十三日に発生した中越大地震のときは、ちょうど息子さんが居合わせたため、「おおごとにならないくてよかった」とのことです。

「父はテレビで相撲観戦が大好きなんですよ」と十日町市にお住まいの息子さんはにこやかに話してくださいました。

根津さんは、一〇〇歳とは思えないほど姿勢が良く、凛とした表情が頼もしいおじいさんです。



押木助役から記念品の花かごを受け取る根津さん（中央）

おめでとー！
一〇〇歳



大事な大事な掲示板

ここは活性化センター一階、「川西町掲示板」をのぞき込むおんぶの二人…。

掲示板は研修などで使うホワイトボードで、いかにも急

ごしえの感じです。それもそのはず、もとの掲示板は役場正面玄関を上がった踊り場にありました。そこが震災で使えなくなったため、ありあわせの物品を使って臨時の掲示板にしたというワケです。

この掲示板にはどんなものが貼り付けてあるのかというと、議会議決された条例や道路の認定、選挙の公示や災害救援制度の決定など、町の施策や住民生活に密接に関わる重要な文書ばかりです。

今までは立派なガラスケースに収まっていたものの、脇にあったため立ち止まって見る人も少なかったようですが、今は直接目の前にあるので、かえって足を止める方が多いようです。

で、おんぶの二人が見つめている文書は何かというと、「川西町保育料減免取扱要領」。納得ですね。

とても身近な大事な掲示板、ぜひ見に来てください。

お知らせします 町職員の給与

●今年度のラスパイレス指数は 92.1

川西町役場の職員を含む地方公務員の給与・退職手当などについては、国や県、あるいは他の市町村、地域の民間事業所などと均衡を図るように定められています。

「役場の職員は一体いくらもらってるの？」という素朴な疑問が湧く方も多いかと思います。そこで、次のとおり町職員などの給与をお知らせします。

ちなみに、国家公務員を 100 とした場合の比率を示す川西町のラスパイレス指数は、今年度は 92.1 で昨年度より 1.8 ポイント下がりました。新潟県下では下位に、合併を予定している 5 市町村の中では中位にあります。

1. 人件費の状況（普通会計決算）

区 分	住民基本台帳 (平成 16. 3. 31)	歳 出 額 A	実 質 収 支	人 件 費 B	人件費率(B/A)
15 年	7,992 人	51 億 6,320 万 2 千円	3 億 3,704 万 4 千円	9 億 4,321 万 6 千円	18.3 %

(注) 人件費には、特別職に支給される給料、報酬等を含みます。

2. 職員給与等の状況（普通会計予算）

区 分	職員数 A	給 与 費				1 人当たり 給与費(B/A)
		給 料	職員手当	期末・勤勉手当	計 B	
16 年度	117 人	4 億 3,766 万 7 千円	6,623 万 6 千円	1 億 7,429 万 8 千円	6 億 7,820 万 1 千円	579 万 7 千円

(注) 1 職員手当には退職手当を含みません。

2 給与費は 6 月補正後の予算に計上された額です。

3. 職員の平均給料月額及び平均年齢の状況

(平成 16 年 4 月 1 日現在)

区 分	一 般 行 政 職		技 能 労 務 職	
	平均給料月額	平均年齢	平均給料月額	平均年齢
川 西 町	307,291 円	40.9 歳	275,850 円	50.9 歳
新 潟 県	360,114	42.8	339,436	45.8

4. 職員の初任給の状況

(平成 16 年 4 月 1 日現在)

区 分		川 西 町		国	
		決定初任給	採用 2 年経過日給料額	決定初任給	採用 2 年経過日給料額
一般行政職	大学卒	170,700 円	184,400 円	170,700 円	184,400 円
	高校卒	138,800	148,500	138,800	148,500

5. 職員の経験年数別・学歴別平均給料月額の状況

(平成 16 年 4 月 1 日現在)

区 分		経験年数 10 年以上 15 年未満	経験年数 15 年以上 20 年未満	経験年数 20 年以上 25 年未満
一般行政職	大学卒	285,600 円	315,600 円	375,600 円
	高校卒	225,300	293,600	328,300

(注) 経験年数とは、卒業後直ちに採用され引き続き勤務している場合は、採用後の年数をいいます。

6. 一般行政職の級別職員数の状況

(平成 16 年 4 月 1 日現在)

区 分	標準的な職務内容	職 員 数	構 成 比	参 考	
				1 年前の構成比	5 年前の構成比
8 級	課 長	3 人	3.8 %	1.2 %	1.0 %
7 級	課 長・参 事	16	20.2	13.8	6.0
6 級	課長補佐・副参事	7	8.9	13.8	11.0
5 級	係 長・主 査	13	16.4	18.8	23.0
4 級	主 任	7	8.9	11.2	27.0
3 級	主 事	17	21.5	10.0	6.0
2 級	主 事	15	19.0	27.5	19.0
1 級	主 事	1	1.3	3.7	7.0
その他		—	—	—	—
計		79	100.0	100.0	100.0 %

(注) 1 川西町の給与条例に基づく給料表の級区分による職員級です。

2 標準的な職務内容とは、それぞれの級に該当する代表的な職務です。

7. 職員手当の状況

区分	川西町	国
勤 勉 手 当	(16 年度支給割合) 期末手当 6 月期 1.4 月分 12 月期 1.6 月分 計 3.0 月分 勤勉手当 0.7 月分 0.7 月分 1.4 月分	(16 年度支給割合) 期末手当 6 月期 1.4 月分 12 月期 1.6 月分 計 3.0 月分 勤勉手当 0.7 月分 0.7 月分 1.4 月分
退 職 手 当	(16 年 4 月 1 日現在) (支給率) 自己都合 勸奨・定年 勤続 20 年 21.0 月分 28.0875 月分 勤続 25 年 33.75 月分 43.335 月分 勤続 35 年 47.5 月分 60.99 月分 最高限度額 60.0 月分 60.99 月分 その他の加算措置 定年前早期退職特例措置 1 年につき 2 % (20 % 限度) 退職時特別昇給 20 年以上勤続者 1 号俸 勸奨の場合 10 年以上勤務 1 号俸 15 年度 1 人当たり平均支給額 21,395 千円	(16 年 4 月 1 日現在) (支給率) 自己都合 勸奨・定年 勤続 20 年 21.0 月分 28.0875 月分 勤続 25 年 33.75 月分 43.335 月分 勤続 35 年 47.5 月分 60.99 月分 最高限度額 60.0 月分 60.99 月分 その他の加算措置 定年前早期退職特例措置 1 年につき 2 % (20 % 限度) 退職時特別昇給 1 号俸

(注) 退職手当の 1 人当たり平均支給額は、前年度に退職した全職種に係る職員に支給された平均額です。

区分	区 分	国の制度との比較
扶 養 手 当	配偶者 13,500 円 配偶者以外の扶養親族のうち 2 人 6,000 円 ただし、配偶者のいない職員の場合には、扶養親族のうち 1 人は 11,000 円 その他の扶養親族 1 人につき 5,000 円 (満 16 歳の年度初めから満 22 歳の年度末までの子は 5,000 円加算)	同 じ
住 居 手 当	借 家 月額 12,000 円を超える家賃を支払っている職員に対して負担している家賃の額に応じて最高 27,000 円 (家賃が 55,000 円以上の場合) まで支給 持 家 住宅を新築・購入した場合、5 年間 2,500 円	同 じ
通 勤 手 当	交通機関利用者 負担している運賃の額に応じて最高 55,000 円まで支給 交通用具使用者 片道の使用距離に応じ、2,000 円 (2 km 以上 5 km 未満) から最高 24,500 円 (片道 60 km 以上) まで支給	同 じ

時 勤 務 手 外	15 年度	支 給 総 額	19,237 千円
		職員 1 人当たり支給年額	173 千円
	14 年度	支 給 総 額	14,872 千円
		職員 1 人当たり支給年額	104 千円

8. 特別職の報酬等の状況

(平成 16 年 4 月 1 日現在)

区 分		給 料 等 月 額	期 末 手 当
給 料	町 長	703,800 円	15 年度支給割合 6 月期 1.6 月分 12 月期 1.7 月分 計 3.3 月分
	助 役	555,000 円	
	収入役	526,400 円	
報 酬	議 長	255,700 円	
	副議長	196,900 円	
	議 員	180,300 円	

9. 部門別職員数の状況と主な増減理由

(各 4 月 1 日現在)

区 分		職 員 数		対前年 増減数	主な増減理由
部	門	平成 16 年	平成 15 年		
一般行政部門	議 会	2 人	2 人	1 人	業務量の増 (情報政策強化)
	総務企画	25	24		
	税 務	7	7	△ 2	欠員不補充
	民生	30	32		
	衛生	11	11		
	労働	0	0		
	農林水産	10	10	△ 1	
	商 工	3	3		
	土 木	11	11		
小 計		99	100	△ 1	
特別行政部門	教 育	18	21	△ 3	欠員不補充
普 通 会 計		117	121	△ 4	
公 営 企 業 等 会 計 部 門	病 院	6	6	△ 1	事業縮小による減
	水 道	3	3		
	下 水	2	3		
	そ の 他	6	6		
小 計		17	18		
合 計		134	139	△ 5	

催し

第十九回

かわにし雪まつり開催のお知らせ

三月五日（土）・六日（日）に十九回目となるかわにし雪まつりを開催します。

今回は川西町最後の雪まつりであり、「人が元氣・まちが元氣・自然が元氣」のスローガンのもと、合併後も変わらない地域の連携を深めることを目指しています。

また、新潟県中越大地震から復興に関わってくださった皆様に感謝し、大震災から着実に復興している元氣な川西町の姿を町内外にアピールする記念イベントにしたいと考えています。

■内容

◎三月五日（土）

「ほんやら村」各地区

◎三月六日（日）

「本まつり」総合体育館協特設会場

■問い合わせ

かわにし雪まつり実行委員会事務局（まちづくり推進課内）

☎68-4952

平成十七年度 成人式のお知らせ

〈新市一か所で開催〉

新市発足に伴い、平成十七年度成人式を次のとおり開催します。

■期日 平成十七年五月三日（祝）

■時間

〈開場〉午前十時三十分から
〈開式〉午前十一時から

■会場 十日町市 クロス10

■問い合わせ

生涯学習課社会教育係
☎68-2167

十日町地域

就職面接会開催

■期日 一月十九日（水）

■時間 午後一時半～四時

（受付は午後一時から）

■会場 十日町市 クロス10

■対象者 一般求職者、十七年三月新規卒者（大学、短大、専修、高校）

■参加費 無料

■その他 事前申し込み不用・各企業との自由面談方式

■問い合わせ

ハローワーク十日町学卒係
☎57-2407

大学通信教育合同入学 説明会のお知らせ

大学通信教育を実施している大学・大学院・短期大学では、入学生を募集しています。このたび、新潟県教育委員会の後援のもとに、講義内容・学習方法・受講手続き等について、大学の教職員が直接相談を受ける「合同入学説明会」を次のとおり開催します。

なお、当日参加者には、大学通信教育の概要、学習方法、開設学科一覧、取得できる教員免許・資格などが掲載されている小冊子『二〇〇五年「大学通信教育ガイド」（大学・短大編）』を差し上げます。

■開催日 三月六日（日）

■時間 午前十一時～午後四時

■会場 スターホテル新潟三階（新潟市万代三一一一ミナミプラザ）

■参加申込 不要

■入場料 無料

■問い合わせ

〒一三三〇〇三三
東京都文京区本郷二一二七一六
大学通信教育ビル三階
（財）私立大学通信教育協会
☎03-3818-3870
<http://www.uce.or.jp>

教室・講習

手芸教室のお知らせ

地震により、お休みとなっていました手芸教室を再開します。

■期日 一月二十日（木）

■時間 午後一時三十分～

■会場 上新井集落センター

■申し込み・問い合わせ

川西町教育委員会生涯学習課
☎68-2167

「すすく教室」のお知らせ

高齢者コミュニティセンターで行われています「すすく教室」は月二回になりました。

■期日 一月十一日（火）、十八日（火）

なお、はあとふる川西での「すすく教室」は、予定どおり行います。

■問い合わせ

川西町社会福祉協議会
☎68-3343

募集

かわにし雪まつり

本まつりのスタッフ、屋

台村出店者を募集します

雪まつり実行委員会では本まつりのスタッフと屋台村の出店者を募集しています。

川西町最後の雪まつりを一緒に盛り上げましょう。

本まつり

詳しくは事務局までお問い合わせください。

屋台村出店者

■申込方法 雪まつり実行委員会事務局（役場まちづくり推進課）に備え付けの申込用紙に必要事項を記入の上、事務局へお申し込みください。

■募集締切 一月二十一日（金）必着

■その他 出店者説明会を、一月二十六日（水）午後七時半から川西町活性化センター四階第一研修室で行いますので、必ずご出席ください。

■問い合わせ

かわにし雪まつり実行委員会事務局（まちづくり推進課内）

☎68-4952

平成17年度 奨学生 を募集します

平成十七年度奨学金貸与を希望する奨学生を募集します。応募資格と貸与額等については次のとおりです。

●応募資格

平成十七年度に高等学校、高等専門学校、専修学校、短期大学、大学に進学予定か在学习中で、次のすべてに該当する人です。

- ①保護者が川西町民となっているから三年以上経過している人
 - ②学業成績が優秀と認められる人
 - ③経済的な理由で学資の支払いが困難な人
 - ④心身ともに健全な人
- ### ●奨学金の月額
- ①高等学校 一万円
 - ②高等専門学校 二万円
 - ③専修学校 三万円
 - ④短期大学 三万五千元
 - ⑤大学 三万五千元
- ### ●貸与期間

平成十七年四月から在学する学校の最短終業年限の終わりまでです。

●提出書類

- ①奨学金貸与申請書
- ②在学(卒業)学校長の推薦書
- ③成績証明書
- ④住民票謄本
- ⑤平成十六年度町県民税所得課税証明書(家族全員が載っているもの)

●奨学金の返済

- ①奨学金には利息がつきません。
- ②据置期間一年ののち、八年以内に年一回または二回のいずれかの方法で返済します。

●修学一時金

一時金(高校二〇万円、大学五〇万円)の希望者も、若干ですが募集します。申請書等は奨学金と兼用になっています。

●申し込み

二月二十八日(月)までに教育委員会学校教育課へ提出してください。申し込みに必要な用紙は教育委員会にあります。

●問い合わせ先

教育委員会学校教育課
(☎68-2167)

その他

川西町歴史民俗資料館 冬季休館のお知らせ

川西町歴史民俗資料館は、三月十五日(火)まで休館となりますのでお知らせします。

●問い合わせ

教育委員会 生涯学習課
(☎68-2167)

「はたちの献血」 キャンペーン実施中

新たに成人式を迎える「はたち」の若者を中心として、広く各層への献血思想の普及並びに献血者が減少しがちな冬季における献血者の確保を図ることを目的に、一月一日から二月二十八日まで、全国一斉に「はたちの献血」キャンペーンを行っています。

血液製剤の多くは高齢者の医療に使われています。また、献血者は二十歳代を中心に五十歳未満の若い世代が大半を占めています。今後、医療技術の進歩が増加する一方で、献血者層の人口が減少し、献血者の確保が困難となり、必要とされる血液

が不足することが予想されています。

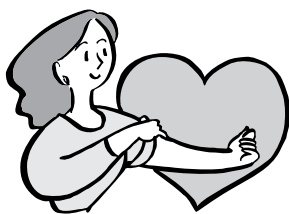
血液は人工的に作ることができません。みなさまの善意で献血にご協力をお願いします。

県内では、献血バスが各市町村を巡回しているほか、三か所の献血ルームで毎日受付を行っています。

- *長岡きたまち献血ルーム
- *東掘献血ルーム
- *献血ルームばんだい

川西町での実施予定

- 実施日 三月七日(月)
- 場所 上野地区コミュニティセンター
- 受付時間
【午前】九時半～十一時半
【午後】一時～三時
- 献血方法 全血
- 問い合わせ
けんこう支援課 健康推進係
(☎68-4958)



新潟県中越大地震に起因する災害被災者住宅復興資金利子補給制度の申請はお済みですか

震災で被災した住宅(自ら居住するもの)の建替え・購入または修繕を行うにあたり、金融機関からの資金を借り受けた場合の償還利子(借入日から五年間)が対象となります。対象となる方の要件や利子補給制度上の条件等もありますので、制度の利用を計画されている方はお問い合わせください。本制度については十二月十日に全戸配布した「災害被災者住宅復興資金利子補給制度等のお知らせ」をご覧ください。

なお、平成十六年十月二十五日以降に金融機関から住宅復興資金を借り入れ、平成十六年十二月末までに償還利子が発生している方は一月末までに利子補給制度に申し込むことと利子補給金の交付を受けるための手続が必要となりますので、お忘れのないようお願いいたします。期限までに申請がない場合には、平成十六年度分の利子補給を受けることができません。

●問い合わせ

建設課 都市計画係
(☎68-4953)

第24回 ミス十日町雪まつりコンテスト 出場者募集のお知らせ

激甚災害に指定された新潟県中越大地震は、これまで築いてきた雪文化にも多大な影を落とし、伝統ある雪まつりも規模を大幅に縮小して実施せざるを得ない状況下にあります。

こうした背景の中で開催される第24回ミス十日町雪まつりコンテストは、震災後の復興の華としてふさわしい、新市十日町市の観光親善大使を選ぶコンテストになります。

■応募資格

- ①県内在住で満18歳以上（高校生は除く）の未婚の女性。
- ②雪まつりやきものまつり、各種撮影会など十日町市の観光行事に参加できる人。また、さっぽろ雪まつりや横浜みなとまつりなど、各種イベントに参加できる人。
- ③ほかのミスコンテストに入賞し、任期中でない人。

■応募締切 1月29日（土）

■応募方法

応募用紙（事務局に配置、ホームページのPDFファイルからダウンロード可）に必要事項を記入し、3か月以内に撮影した顔と全身のカラー写真（L版以上）を添付のうえ、雪まつり事務局へ郵送または持参してください。詳しくは雪まつり事務局にお問い合わせください。

■問い合わせ

十日町雪まつり実行委員会事務局 ミス十日町雪まつりコンテスト係
〒948-0003
新潟県十日町市本町6-1 クロス10内
☎ 0257-57-3100 / FAX 0257-57-5150
[URL] <http://www.city.tokamachi.niigata.jp>
[E-mail] snowfes@city.tokamachi.niigata.jp



2月22日（火）午前2時から 市内局番・市外局番が変わります

川西町を含む十日町地域、糸魚川地域の市内局番・市外局番が、2月22日（火）午前2時から変わります。

例えば、現在市内局番が「68」の場合は、

（旧）0257 - 68 - 〇〇〇〇が



（新）025 - 768 - 〇〇〇〇となります。

（市外局番）（市内局番）（加入者番号）

- この変更による一連の電話番号には変更ありません。
- 川西町から区域内同士で通話をする場合は、これまでの市内局番の前に「7」を付け加えてください。
- これまでの「025の地域」に川西町から電話をかける場合は、これまでと同様に市外局番をダイヤルしてください。また、この逆に川

合併に向けて大車輪の巻

「やっぱり、この条文は必要だこて」、「そうすると、前の規定と合わねくなるぞ」...

ここは、合併協議会事務局の会議室、集まっているメンバーは五市町村の企画部門担当者と協議会の事務局員。

どこも同じように見えても、それぞれビミョーに違っているのが行政実務。五市町村それぞれのやり方を持ち寄って、新市の仕事の進め方を調整しているのが、部門ごとに設けられた分科会です。某日、その「企画分科会」のま

ったただ中、突撃取材にうかがいました。

—— 今、何やってんですか？

「新市のコミュニティ施設運営の条例や規則の検討だての」。

—— 分科会は何回目？
「十八回目で、あと二〜三回はやるかな」。



め、ときには深夜まで議論を交わして意思疎通を図っていました。その結果、「調整はほぼ九割方まとまって、あとは...」。

—— 最終日、アフターファイブの反省会が目撃？

「そうはつきりとは...」。

—— 顔に書いてありました。

で、次に廊下をはさんだ和室に入ってみると、いました、今度は「上水道分科会」。

—— どうですか、進み具合は？

「地震対応で殺人的スケジュールの人が多く、なかなか

全員がそろわなくて...」。

と、悪戦苦闘しながらも

建築工事を進めている「千手中央コミュニティセンター」の大きな特徴は、大勢の人たちを収容できる大ホールがあることです。

ホールの広さは、およそ二八〇平方メートル（約八五坪）です。ホール周りには、舞台（十五メートル×七メートル）、楽屋、楽器庫、簡単な飲食の準備室（パントリー）などが配置されています。



ホールの客席は、だいたいこんな感じになります

ホールの特徴は客席

このホールには、催しの種類や、収容する人数によって席の形を変えられるような仕組みが

備え付けられています。

使い方の一つの方法としては、いままでの総合センター大ホールと同じように、床を平らな状態で使用する方法です。

板張りの床では、簡単な運動をすることも可能です。敷物を引くことによって多数の収容ができますし、机、椅子を配置し

お騒がせ しています 工事が進む 千手中央コミセン

2

ホールの機能

この電動席は二〇分程度で簡単に出入りができますし、建物の二階ロビーからの出入りも可能です。階段状の席では、講演会や集会、発表会などに舞台部分が良く見える構造になっていて、照明や音響設備を使用すること、さまざまな催しに対応できます。

親子室と防音機能を 備えた練習室

二階部分に、小さなスペースですが、「親子室」があります。この部屋は、ホールの催しに小さな子どもさんを連れて参加したときに、子どもの声などで他

の方々に迷惑がからないように、また、子どもたちもゆっくり楽しめるようにと用意した部屋です。

舞台の近くには、防音機能を備えた練習室もあります。部屋の広さは、およそ七〇平方メートルです。この部屋では、楽器の練習や、歌の練習、劇の練習など、周辺の方々や館内の利用者に対して、音による迷惑がからないような設備を設けています。

大訥愚禪和尚

上野村出身の大訥愚禪和尚は、庶民的な暖かい人間性を語り伝えられている。

和尚は、天明六年（一七八六）に、上野の上村六郎右衛門家で兄三人姉二人の末っ子に生まれ、幼名を久治郎と呼ばれた。

天明三年夏に浅間山の大爆発があり、噴火の影響で、たいへんな凶作が続き、その後一〇年近くも食糧不足となり、天明の大飢饉といわれている。

昔の六郎右衛門家は、村でも有力者にあげられており、菩提寺の長安寺に田んぼを寄進したこともあったのだが、このころは力を失っており、飢饉続きの中で六人の子どもを育てるのに困っていた。

仕方なしに、久治郎を寺へあずけて坊さんにしようとした決心し、山越えした松代村の長命寺に入門させ、愚禪の名を与えられた。数え年十歳であった。

寺入りしたばかりの当時は、気が抜けたようにぼんやりしているばかりで、実家へ帰されたりしたが、再び連れ戻されたあとは、見違えるように懸命な修行を続けた。

十八歳ごろから勉強・修行の旅に出て苦勞を積んだが、年々その優秀さを認められ、愚禪の名が高く評判されるようになった。



愚禪和尚が最初に住職になった「永平寺御直末 多福庵」

た。

三十七歳で永平寺の付属寺ともいえる多福庵の住職となったのを初めとして、五か寺の住職を務めたあと、嘉永五年（一八五二）六十七歳で、江戸の吉祥寺に晋山。

吉祥寺は、將軍から任命される名譽ある住職で、全国から選ばれた優秀な青年僧が勉強する梅檀林を併設していた。梅檀林は、いまの駒沢大学の前身である。

愚禪和尚は安政六年（一八五九）に七十八歳で亡くなったが、

その弟子には琢宗禪師をはじめ多くの名僧があり、縁の深い上野の長安寺には、愚禪和尚が將軍から拝領した袈裟が保存されている。

魯山琢宗禪師

曹洞宗本山永平寺の第六十三世貫首となった魯山琢宗禪師は、仙田村赤谷の出身である。

天保七年（一八三六）に、小川六左衛門・シヨ夫婦の二男に生まれ、五三郎と名付けられた。幼いころに病弱であったのを

おらふらの話

上野 上村政基

（第四十四回）

心配した母が、赤谷から伊勢平治への峠越えの道を、観音様に百回の夜参りを続けた話が伝えられている。

健康になった五三郎は、その賢さで評判になったが、僧侶になって勉強したいという気持ちが高まり、親の止めるのもきかずに、小国（小国町）太郎丸の真福寺に入門した。十二歳の時で、魯山琢宗の名を与えられた。

真福寺は、学問と修業を兼ねた道場という評判が高かったが、琢宗は先輩僧を越える成績をあげ、嘉永六年には、愚禪和



「琢宗禪師生誕之地」の碑（赤谷）

長谷川家の兄弟

琢宗禪師の真福寺入門を取りはからったのは、赤谷の長谷川五郎右衛門である。

長谷川家は、上杉景勝に仕えた武士の子孫であるといい、塚山（越路町）から洪海川に沿って仙田郷に入り、赤谷に落ち着いたと語られている。

同家は、俗に太郎右衛門とか儀右衛門と呼ばれ、五郎右衛門（幼名を福松）は二代という。

学問好きで、彫刻に巧みで福伝と号し、恵比寿大黒の千体彫りを志し、鎮守社に「大黒天蛭子千体彫刻供養」の石塔が残っている。俳号を谷川と称した。

その弟が幼名万蔵で、幼時から「利巧モン」と評判され、室島の相国寺に入って修行。詳山紋瑞の名を与えられた。

各地の寺を回って修行した紋瑞は、次第に有徳の僧としてその名が広まり、上州（群馬県）箕輪一二万石の藩主井伊直政に招かれて、その菩提寺である龍門寺一七世住職となり、二十七年間を在職した。

箕輪藩主の井伊氏は、その後彦根藩に移り、幕末期には井伊直弼がいる。また、与板藩主の井伊氏は、彦根の分家である。

藩主井伊氏からの拝領物が、長谷川家の家宝として伝えられていた。



早速、学校体育館の使用に関する調整会議が開催され、十二月十五日からはすでに活動を開始している団体もあります。

毎週月・木曜に活動を行なうスポーツ少年団バレーボール中学生の練習にお邪魔したところ、写真からも伝わる通り元気にいっぱいに練習を展開しています。

これからも、活動の場を少しでも多く確保すべく一層の努力をしていきますので、みなさんからの協力をお願いいたします。

前号でもお知らせしましたが、中越地震以降、被害状況の確認などのために使用が禁止されていた千手小学校体育館の開放が再開されました。

また、川西中学校体育館についてもすでに復旧工事に着手しており、その進捗状況によつては今月早々にも開放再開の見込みとなっています。

●問い合わせ 川西町総合体育館内 川西町体育協会事務局
☎68-2167

アルコール依存症にならないために

新年会などでお酒を飲む機会が多いこのごろです。酒は百薬の長といつて、上手に飲めば健康によいものです。しかし、「お酒がやめられない、朝からでも飲む」というのは、ほとんどの場合はアルコール依存と考えられます。

アルコール依存は、アルコールへの渴望が強く、飲酒の弊害を知りながらやめることができず、心身の健康を損ない、社会生活に支障をきたしている状態をいいます。治療が遅ればそれだけ肝臓や神経系の障害を進め、家庭の崩壊などを招き、回復も困難になってきます。

阪神淡路大震災後、特に単身者や仮設住宅入居者にアルコール依存症の人が多く、孤独にならないような対応が望まれたといわれています。

いくら酒好きの人でも、はじめから依存症ではなく、長い年月飲み続けることによって依存症をおこします。たび重なる二日酔い、昼間からの飲酒、酩酊時の問題行動などは、身近で生活している家族や友人が最初に気づくことが多く、この段階ならば素直な話し合いを持つこと

ができて、健全な方向へ転換した人は数多くいます。酒の上の出来事はかえつて見過ごされてしまう傾向がありますが、アルコール依存症が病気であるというのを理解して適正な飲酒を心がけることが大切です。

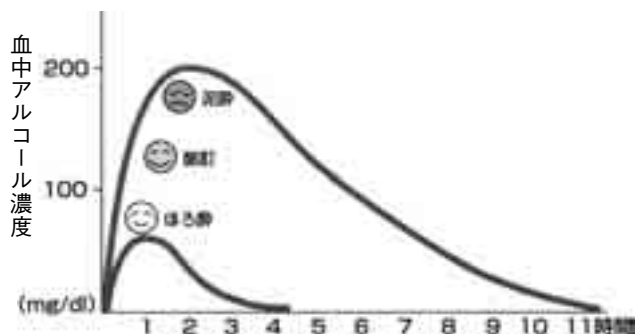
また、依存症になると、「ほどほどに飲む」ということは難しくなります。まず断酒して心身の健康をとりもどし、飲酒しなくても生活できるような工夫もする必要があります。

本人や家族だけでは対処が困難な場合が多いので、できるだけ早く保健所、医療機関、断酒会等に相談してみることをお勧めします。

グラフは、飲酒後の血中アルコール濃度の経時変化を示したものです。日本酒で二合ほど飲んだほろ酔いの状態の場合、四時間以上もかかって分解されます。さらに大量に飲めば、曲線のようにアルコールは十一時間も体内に残っていることになります。

適正飲酒を心がけ、アルコール依存を予防し、楽しい酒で過ごしたいものです。

飲酒後の血中アルコール濃度と経時変化



- 適正飲酒の十か条
- 一、笑いながら楽しく飲む
 - 二、自分のペースを守ろう
 - 三、食べながら飲む習慣を
 - 四、自分の適量に留めよう
 - 五、週に二日は休肝日を
 - 六、酒の無理強いをしない
 - 七、薬と一緒に飲まない
 - 八、強いものは薄めて
 - 九、遅くとも夜十二時までに切り上げよう
 - 十、肝臓などの定期検査を

善意

新潟県中越大地震の復興に（義援金）

十二月二十八日現在

三、七二四万三、五一五円（四四七件）

戸籍の窓から

昇天—ごめい福を祈る

登坂正道 52（茂）岩瀬
藤巻孝吉 78（本人）塩辛
長谷川鐵栄 79（政栄）赤谷
南雲トメ 86（本人）あかね園
小島了一 44（本人）新町新田
太田キヨ 93（正志）田中町
高橋誠吾 82（光行）赤谷
井川悦子 57（久清）新町新田
石田公一 47（太郎松）小脇
うぶ声—おすこやかに
藤巻真緒 由美子 塩辛
松本悠 山丹 中島町

佐藤花音 正人 朝日町
丸山りさ 一樹 新町新田
ちづる

高砂—ご円満に

相崎文幸 沖立
中島峰子 上野
江村勝美 栄町
篠原佳子 群馬県
酒井裕一 寺尾
岩田輝子 十日町市
田口桂巳 木落
星川真紀子 長岡市

（12月1日—31日届け出順）



かわい俳壇

高崎正風選

寒菊に蛇のとびいる日差しかな
七十の手習い始む冬ごもり
三山を遠くに置いて冬桜
葉ばたんの渦に朝日の光りけり
除夜の鐘寺それぞれの音色かな
岩瀬 登坂伊智子

福寿草句に親しみて五十年
豊穣の稲天皇の刈り給ふ

練馬区 須藤 遊人

大地震に疲れし如く山眠る
佛だんも治り無事に年迎う

小白倉 江口みゆき

大地震の無事も書き添う賀状かな

霜条 星名 星光

家起こすワイヤー巻きて大冬木
札所地図車でめぐる年始め

霜条 星名 星光

冬の畦ここにも地震の跡残る

霜条 星名 星光

浮く柚子の肩に触れ来る冬至風呂
すれ違う農夫たき火の匂ひかな

霜条 星名 星光

かまきりの顔三角のまま枯るる

霜条 星名 星光

友送りくれし柚子なる柚湯かな

霜条 星名 星光

震災の鳥居なき宮初詣
新年を迎う卒寿と八十二

霜条 星名 星光

壁のひび貫く余震去年今年
おすましの手を口にあて初笑ひ

霜条 星名 星光

魚も餅も喰うて傘寿の大旦

霜条 星名 星光

仮設として住所変りし賀状かな
出湯の宿割れ目を絞めし飾り白

霜条 星名 星光

父の年生きて二椀雑煮食ふ

霜条 星名 星光

山寺の鐘のなるより暮れ早し
暮の市大きな鮭がつるされて

八王子市 松浦 サク

菊枯れて庭は淋しくなるばかり
ねばりよき杵搗き餅の雑煮かな

八王子市 松浦 サク

テレビにも飽きて半日寝正月
震災に倒れし墓も雪積もる

八王子市 松浦 サク

満天や氷柱格子の仕舞い風呂
時雨るるや特攻の碑に供華手向く

八王子市 松浦 サク

掛け替えし軸もめでたき床の春
厠にも一輪差して年迎う

八王子市 松浦 サク

震災に負けぬと記して年賀状
大地震の避難所ぐらし夜の長き

八王子市 松浦 サク

初雪の雨となりたる夜の町
暮れてゆく静けさにあり町寒し

八王子市 松浦 サク

譲り合う雪の階段初詣
銀杏みな散りてお宮の見えにけり

八王子市 松浦 サク

初雪や野山は白の一と色に
年迎え良きこと願い祈るかな



「東京ドームで野球の練習をしたよ」
2年生 丸山 純輝



「ありさん おたんじょう日おめでとう！」
1年生 野沢 真生



「小鳥といっしょに空を飛んだよ」
4年生 高橋 哲郎



「海の中を泳ぐえい」
3年生 滋野 彩香

(2月号は仙田小学校です)



「テープカッター」
6年生 丸山 未彩紀



「夢」
5年生 小幡 千明

朝方と夕刻、空は魅惑的な表情を見せる。

地上との境界近くがひとときわ輝き、見る間にその色が変わっていく。色の変化や明るさには上空の雲も大きく影響する。



今までは、「雲がきれいに染まったな」、「あの雲がなければいいのに」などと、どちらかというと脇役として見ていたが、最近雲の方に注目することが多い。

「変な雲だな」、「あの切れ方は今まで見たことがねぞ」、「あれも地震雲じゃねか」、「違うて、夏にもあったて」...

地震後、自然を見つめる目と、日々の話題も変わってきている。関わる世界が広がるのはいのことだ。

㊦

